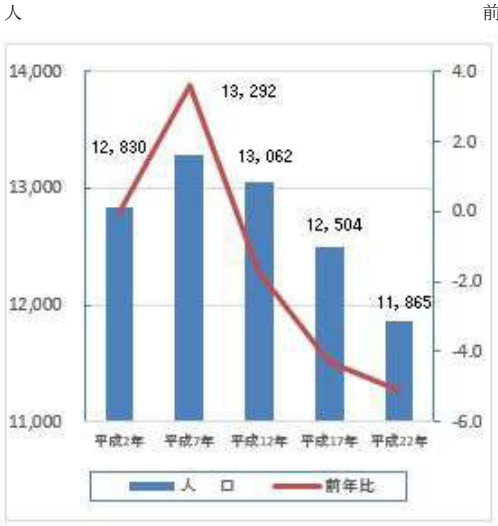
市町村基礎調査表　　調書 1-1

市町村名		飯 綱 町			1	線引きの有無	□：有　☑：無
2-1 面積 (ha)	市町村全面積：A	7,500			2-2 地域区分 (ha)	都市地域	1,325.7
	都市計画面積：B	7,090.3	B/A%	94.5%		農業地域	2,205.7
	白地地域：C	7,090.3	C/A%	94.5%		森林地域	3,558.9
	用途地域：D	0	D/A%	0.0%		自然公園区域	409.7
	低層～中高層：D－1	0	D-1/D%	0.0%		自然保全地域	0
	住居～準住居：D－2	0	D-2/D%	0.0%		その他	
	商業系：D－3	0	D-3/D%	0.0%		平成 26 年度、飯綱町都市計画基礎調査より引用	
	工業系：D－4	0	D-4/D%	0.0%			

3 人口動向（人）

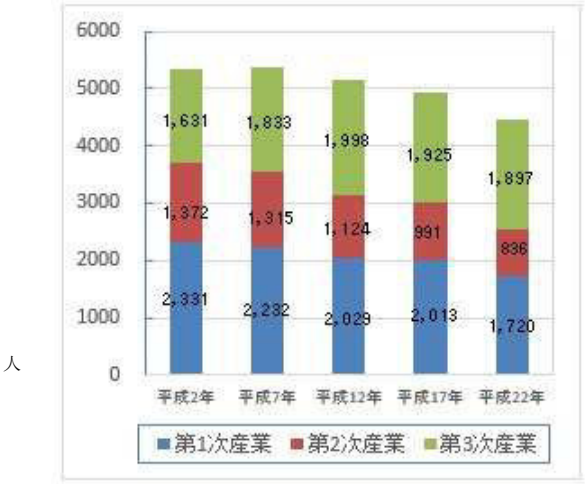
全人口



・全人口は平成 7 年をピークに減少傾向にある。
・5 年毎の増加率は、3.6%、△1.7%、△4.3%、△5.1%で、平成 2 年からの 20 年間では 965 人、7.5%の減少となっている。

（出典：平成 26 年度、飯綱町都市計画基礎調査）

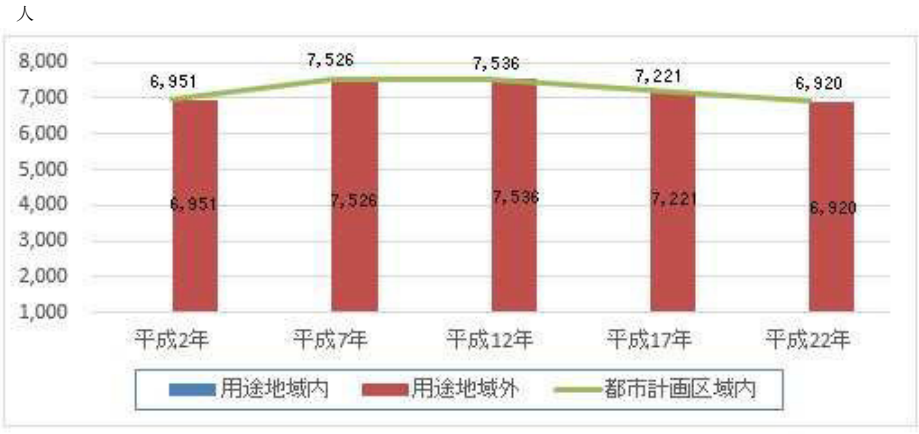
産業別就業人口



・平成 22 年の産業別就業人口は、第 1 次産業 38.3%、第 2 次産業 18.6%、第 3 次産業 42.3%となっており第 3 次産業の就業者の割合が最も高くなっている。
・平成 2 年と比較すると、第 1 次産業 5.4%減少、第 2 次産業 7.1%減少、第 3 次産業 11.7%増加となっている。

（出典：平成 26 年度、飯綱町都市計画基礎調査）

都市計画区域内人口

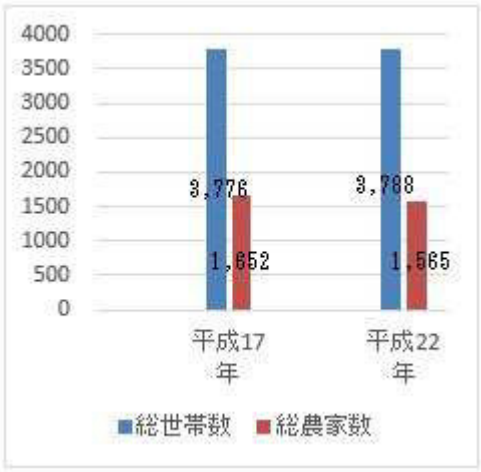


・本区域には用途地域を設定しないことから、すべて用途地域外人口となる。
・都市計画区域内人口は平成 12 年以降減少傾向にあり、平成 22 年の人口は平成 17 年と比較すると 4.2%減少している。

（出典：平成 26 年度、飯綱町都市計画基礎調査）

4 世帯動向（数）

世帯数、農家数



・平成22年の総農家数は、平成17年と比較すると、やや減少している。
・平成17年の世帯数に占める農家数の割合は44％であるが、平成22年では41％と減少している。

（出典：平成 27 年国土利用計画・・飯綱町計画、農林水産省統計情報部・・世界農林業センサス調査結果）

5 国土利用計画策定

（単位：ha）

区分	基準年次	目標年次
	平成 24 年	平成 35 年
農用地	1,764	1,759
森林	3,968	3,968
原野	394	394
水面・河川・水路	112	112
道路	378	379
宅地	506	506
その他	378	382
合計	7,500	7,500

・農用地は、優良農地を保全に努め、遊休農地の解消を図り、さらには活用方策を推進する。
・住宅地は、既存の住宅地ストックの有効活用を促進し尚且つ、空き家の流通・活用を促す施策展開を図る。
・工業用地は、周辺への配慮を求めながら、永続的に操業可能な状態を確保し、工場用地としての継続を図る。

（出典：平成 27 年国土利用計画・・飯綱町計画）

6 立地特性

・飯綱町は、長野県の北部に位置し、北は信濃町、東は中野市、西南は長野市に接し、飯縄山、霊仙寺山、斑尾山などの山々に囲まれた穏やかな丘陵地にあり、中央部に鳥居川が流れている。
・標高は 450ｍから 1,900ｍと標高差がある。居住地は概ね標高 500m から 1,000ｍの間にあり、総面積は 75.00 ㎢ で、南北に約 15.6㎞、東西に約 13.9㎞ の広がりを持っている。
・平成 17 年 10 月 1 日に上水内郡牟礼村と同三水村の合併により誕生した町である。
・飯綱東高原の観光開発や福井住宅団地の造成、用水開発による果樹や稲作を中心とした農業振興などに取り組み、現在では長野市のベッドタウンとして、また北信地域の観光拠点として、さらにはりんごやももなど果樹の一大産地として発展してきている。

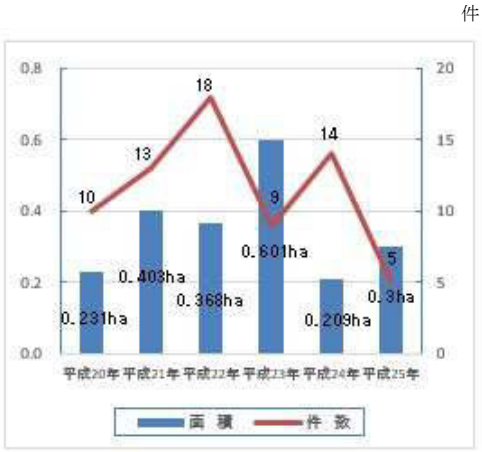
（出典：平成 27 年国土利用計画・・飯綱町計画、平成 24 年度版飯綱町統計資料）

7 建築条例要綱等

開発や建築に係る条令及び要綱等の制定はないが、関連するものとして以下のものがある。
・飯綱町自然環境保全条例(H18.9.29) ・飯綱町自然環境保全条例施行規則(H18.10.5)
・飯綱町環境基本条例(H18.3.24) ・飯綱町文化財保護条例 (H17.10.1)

8 開発動向

○農地法における農地転用状況

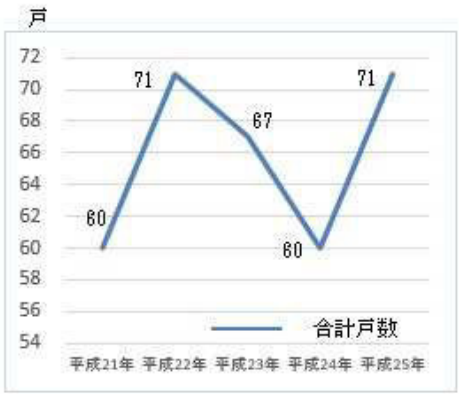


・平成 20 年から平成 25 年までの過去 6 年間に転用された農地面積は 69 件、2.1ha である。
・平成 25 年の農地転用の届出は、5 件、0.3ha である。

（出典：平成 26 年度、飯綱町都市計画基礎調査）

9 建築動向

○新設住宅着工戸数

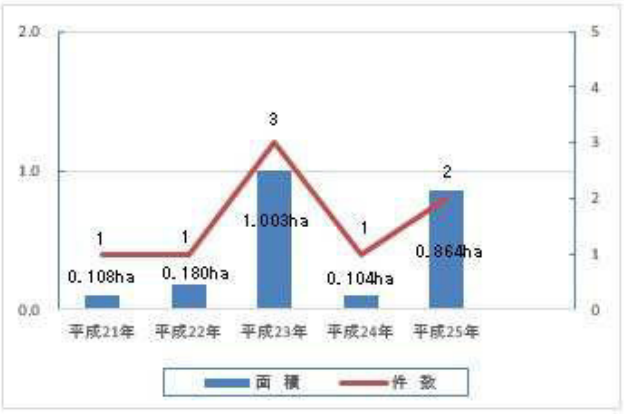


・各年度の新設住宅着工戸数は概ね 60 戸から 70 戸の間で推移しており、平成 22 年から減少傾向にあったが、平成 25 年には増加している。

（出典：飯綱町建設水道課 資料）

<table>
<tr><td rowspan="5">白地地域の立地特性等</td><td>1. 法規制等</td><td colspan="2">○農業振興地域の整備に関する法律
・農業振興地域　3081.0ha　　・農用地地域　768.0ha</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2. 公共施設、公益施設の整備状況</td><td>道路</td><td>・町内の道路舗装延長は 315,700m でそのうち、舗装延長は 199,838.1m、道路舗装率は、63.3%である。
・町内の道路改良延長は 238,008m でそのうち、道路改良率は、47.7%である。

（出典：長野県地域別・市町村　100 の指標（長野県の統計情報）　）</td></tr>
<tr><td>下水道</td><td>・公共下水道は平成 25 年 3 月 31 日現在の普及率は、54.7%である。
・農業集落排水施設等　38.8%、浄化槽　4.3%であり、全域の普及率は 98.0%になっている。
・処理場は、特定公共下水道を含め、9 箇所において管理されている。

（出典：長野県地域別・市町村　100 の指標（長野県の統計情報）　）
（出典：飯綱町ホームページ　）</td></tr>
<tr><td>その他都市施設</td><td>・都市施設として、都市下水路の整備を実施したが、以後、現段階では都市施設の計画はされていない。</td></tr>
<tr><td>3. 開発行為の動向</td><td colspan="2">開発許可申請件数
ha　　件
 

・飯綱町における都市計画法に基づく開発許可の状況は、平成 21 年から平成 25 年までの過去 5 年間で 8 件、2.2586ha である。

（出典：平成 26 年度、飯綱町都市計画基礎調査）</td></tr>
<tr><td>4. 現況の建築物立地特性</td><td colspan="2">・商業系建物は、国道 18 号沿いの深沢地籍、旧北国街道沿いの牟礼駅、役場（牟礼庁舎）周辺等中心に分布しており、工業系施設はその南側の丘陵部に比較的規模の大きい施設がみられる。
・住宅系建物は、主要道路（国道 18 号、長野荒瀬原線、牟礼永江線、東柏原赤塩線）に多く見られ、牟礼駅の南側には、新興住宅地　福井団地がある。
・町の西部にある　いいづなリゾートを中心に、観光農園、ゴルフ場、ワイナリーなどがある。
・果樹、稲作を中心とした農業振興などに取り組み、現在では、長野市のベットタウンとして、北信地域の観光拠点として、またリンゴ・モモなどの果樹の産地となっている。

（出典：国土利用計画（飯綱町計画））</td></tr>
<tr><td>5. 備考</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

土地利用規制図

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び25万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号　平23関複、第613号)

《凡　例》

	行政界
	都市計画区域(変更前)
	都市計画区域(変更後)
	水源かん養保安林
	土砂流出防備保安林
	土砂崩壊防備保安林
	砂防指定地
	急傾斜設定区域
	土石流設定区域
	地すべり設定区域
	農用地区域
	農業振興地域
	国立公園

飯綱町

2－(2)	土地利用規制図	
縮尺	1:52,000	
地形図の測量時点	平成２５年１月	